

ビデオメッセージ (2021. 10. 13)  
インドネシア共和国外務省/アジア・太平洋・アフリカ総局長  
アブドゥル・カディール・ジャイラニ 大使

---

尊敬すべき講演者のみなさま、ご参加のみなさま、こんにちは。お元気でしょうか。インドネシア共和国外務大臣の代理として、りそなアジア・オセアニア財団様のおまねきに感謝致します。本日ここに、日本とインドネシアの二国間関係に焦点を当てた、第40回りそなアジア・オセアニア財団セミナーに参加できたことをうれしく、また光栄に思っております。日本とインドネシアの関係に熱意を持つ多くの方々、特に政府関係者だけでなく、若い研究者、経営者、市民社会組織の皆様にとってこのセミナーは役に立つものと確信しております。

日本とインドネシアは、通常の二国間関係の範囲を超えています。日本はインドネシアにとって、地域内の最も重要なパートナー国のひとつです。特にインフラプロジェクトはもちろん貿易、投資の分野で重要です。Covid-19 パンデミックのあと、国内および地域の経済回復が加速するように努めています。さらには、パンデミック当初より日本は、薬、ワクチン、医療機器、またワクチン研究を通じてインドネシア支援への強い決意を示してきました。二国間の協力のいくつかの側面ではパンデミックの影響を受けたものの、概ねその進捗については安定しておりました。例えば最近では、二国間貿易の懸案事項や日伊経済連携協定の見直しについて意見を交わすために、第16回日伊経済連携協定合同委員会会議を行いました。このような会議は、円滑な二国間貿易と投資協力を確かなものにしようとする意思疎通を図るための議論をするうえで重要です。

インドネシアの経済成長に関しては強い自信があります。昨年最低の経済成長を経験したのち、我々の経済は2021年の第二四半期に徐々に回復しつつあります。課税軽減やその他多くの有益となる政策が開始されます。財政支出を通じて経済を引き上げるための努力も行われています。我々はまた、投資と輸出の好影響に期待しています。

さらに、2020年末に成立した雇用創出オムニバス法案を含め、投資環境を良くする真剣な努力をしております。新たに生まれたこの法案は、労働市場を拡大し、中小企業のキャパシティを高め、また営業許可手続きにかかる日数を短縮することを目的としています。またこの法案成立は、インドネシアを競争力の高い外国投資先国にしたいという、インドネシア政府の固い決意の表れです。そういうわけで、日本企業からの対インドネシア投資がもっと増え、日本がインドネシアにとっての最強の投資国のひとつに戻ってくれることを期待しております。

また、2021年10月21日から11月4日までの間に開催されるトレード・エキスポ・インドネシア-デジタルエディションへ日本のビジネスマンに参加していただき、貿易関係を促進したいと思っております。毎年開催される貿易展示会、貿易公開討論会、商談会、ビジネスフォーラム、相談会であり、120ヶ国以上からバイヤーが来場する最大級のビジネスチャンスです。

最後に、日本とインドネシアは60年以上もの外交関係を築き上げ、強固なものとしてきたことを強調したいと思います。両国の政府とその他の関係者は、この友好と協力が両国民にとって具体的な利益として実を結ぶように懸命に努力してきました。我々はこのような努力が継続するように確実なものにしなければなりません。そして、本日のセミナーのようなイベントが、日本とインドネシア間のより深い協力関係が続くための議論を行っていただけることがわかり、うれしく思っています。本日のセミナーがみなさまにとって成果のある有意義なものになることを願っています。全能の神様が私達の崇高な努力にあらゆる可能な成功をもたらしてください。

ご静聴ありがとうございました。

(終了)